



かけがえのない命のために

福岡いのちの電話 評議員
河邊 哲司
(久原本家グループ 社長)



大手広告会社の新入女性社員が長時間労働を苦に自ら命を絶って7年半になります。

女性が社員寮から飛び降りたのは、入社した年のクリスマスの日。直前の2カ月、友人や母親らに発信したLINEやTwitterなどには、出口が見えずに絶望へと追い込まれていく葛藤が綴られており、やりきれない気持ちになります。

経営者として、従業員の心身の健康は最優先事項です。この女性の遺族の言葉を借りれば「命より大切な仕事はありません」。この事件のあと、働き方改革関連法が順次施行され、遅まきながら時間外労働に上限が設けられるなどしましたが、それでもいまだ精神的不調による労災の請求件数は増加傾向にあると聞きます。

久原本家グループでは、私がかねてより考えてきたことや、経験則による教訓をワンフレーズにして従業員に示していますが、その中に「自分の得意な“ものさし”を見つけよ」というメッセージがあります。誰もが万能で、社会に順応できるわけではない。従業員には自分に向いていることや自分が高く評価してもらえる“ものさし、を一刻も早く見つけ、よりよい仕事人生を送ってほしい――。

そのために社内では1 on 1といわれる上司と部下との個人面談を定期的 to 実施しています。上司は傾聴が

基本で、評価もしません。コミュニケーションにより信頼関係を築いていくことが目的ですが、その過程で自身の適性や可能性に気づき、部下のキャリア開発のきっかけとなることもあります。

私は従業員に均一性は求めません。誰かの不得手は社内の誰かの特技で補えばいい。「粒ぞろい」ではなく「粒ちがい」で結構。むしろ多様で個性溢れる「雑草集団、でありたいと考えています。

私は会社という人の集まりをよく家族に見立てますが、一方で共同体的な人間関係から距離を置きたいと考える従業員もおり、それがストレスであれば無理につなぎ留めるつもりはありません。ただ、意識が内向きになって辛いときは、いつでも誰かとつながることができる環境の中で、各自が仕事を通じて成長し、今を生きればよいと思っています。

弊社の取り組みはまだまだ手探り状態ではありますが、社会から「残業こそが忠誠のバロメーター」との古い価値観が一掃され、横並びを強要されない組織が当たり前になることを願ってやみません。

2023(令和5)年度 事業計画

1. 相談事業の充実

①電話相談

- ・24時間年中無休体制の円滑な維持のために十分な相談員数の確保に努める
- ・環境の整備を図り、より質の高いサービスを提供できるように努力する

②インターネット相談

- ・インターネット対応の相談活動として、パソコンによるメール相談を継続する

③フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」への参加、実施（厚生労働省補助事業）

2. 相談員の養成・研修とサポートシステムの充実

(1) 電話相談

①相談員の養成研修を実施

- ・第48期生の養成実施（2022年10月5日～2024年9月）
- ・第49期生の養成実施（2023年10月開講予定）
- ・電話相談員養成サポーターによる養成講座の運営補助

②相談員の活動更新のために

- ・全体研修（年4回）の実施
- ・フリーダイヤル研修（日本いのちの電話連盟）の実施
- ・グループ・スーパービジョン（8グループ月1回）の実施

③電話相談員養成サポーター養成ならびに継続研修講座の実施

(2) インターネット相談

①相談員の養成研修

- ・インターネット相談員養成を実施（日本いのちの電話連盟主催の養成講座）

②相談員継続研修

- ・継続研修の実施（年2回、日本いのちの電話連盟主催、福岡主催）
- ・インターネット相談運営委員会への参加（連盟主催）

(3) その他の研修の推進

- ・自主研修会等の実施
- ・リフレッシュ研修の実施
- ・全国研修大会等への参加推進

(4) 相談員のケアシステムの充実

- ・相談員のケア研修の実施
- ・強いストレスを受けた相談員への個人スーパービ

ジョン実施

3. 広報活動のより一層の推進

- ①「福岡いのちの電話会報」の年4回発行
- ②福岡いのちの電話紹介リーフレットの発行
- ③事業報告書の発行
- ④新聞・テレビ等を通じての広報活動を実施
- ⑤ホームページによる広報

4. 募金活動のより一層の推進

- ①安定した運営のために、資金確保に向けた募金活動を鋭意、推進する
- ②後援会組織を充実し、連携強化により組織の活性化を図る
 - ・チャリティイベント等の開催
 - ・事業ボランティア活動の充実

5. 各種委員会の開催

- 理事会、評議員会、教育委員会、相談活動運営委員会などの各種委員会の定例的開催により、組織を充実させ民主的に運営する

6. 会員相互の親睦と活動の活性化を図る

- ①福岡いのちの電話会員総会を開催
- ②内部広報誌「りーんりん」の随時発行
- ③班（曜日班、活動班）活動の充実と活性化による相談員相互の交流促進
- ④「39周年開局記念の集い」の開催、「40周年開局記念の集い」の開催準備

7. 統計資料の整備充実

- 相談事業における統計資料を整備するとともに内容の精密な分析等を行う

8. 他の相談機関等との連携

- ・他の電話相談機関、関連機関と緊密な連携に努め、社会資源資料の充実を図る
- ・関係機関会議への出席

9. 自殺予防対策啓発事業の取り組み

- ・市民、地域に対し、自殺予防に対する関心を高め理解を深める事業を行う
- ①自殺予防公開講座の開催
 - ②福岡県自殺対策啓発事業への参画
 - ③福岡市自殺対策事業への参画
 - ④企業、団体に向けたメンタルヘルス講座の開催

10. 講師等の派遣

- ・支援団体等からの要請に応じ、卓話や講演などを行う



予 算 書

勘定科目		2023年度 当初予算(1)	2022年度 実績(2)	増減(3)=(1)-(2)	備 考	
事業活動による収支	収 入	その他の事業収入	5,806,000	6,260,000	△ 454,000	
		補助金事業	5,000,000	5,000,000		福岡市
		自殺防止事業	400,000	400,000		朝日厚生文化事業団
		受講料事業	360,000	360,000		第48期生養成講座
		研修事業	46,000	500,000	△ 454,000	SV料
		寄付金収入	9,470,000	8,826,000	644,000	
		賛助会費	80,000	76,000	4,000	
		千人会費	2,000,000	1,850,000	150,000	
		法人会費	1,840,000	1,600,000	240,000	
		寄付金	4,450,000	4,200,000	250,000	
	共同募金	700,000	700,000			
	その他	400,000	400,000		新聞社事業団	
	受取利息配当金収入	10,000	10,000			
	受取利息	10,000	10,000			
	その他の収入	3,000,000	3,000,000			
	雑収入	3,000,000	3,000,000			
	事業活動収入計(1)	18,286,000	18,096,000	190,000		
	支 出	人件費支出	4,681,000	4,972,600	△ 291,600	
		職員給料	900,000	841,600	58,400	
		非常勤職員給与	3,750,000	4,100,000	△ 350,000	
法定福利費		31,000	31,000		社会保険・厚生年金・労働保険	
事業費支出		7,040,000	7,560,000	△ 520,000		
研修費		2,550,000	2,850,000	△ 300,000		
相談員諸費		1,850,000	1,850,000			
自殺防止事業		400,000	400,000			
連盟分担金		360,000	360,000			
広報費		1,250,000	1,400,000	△ 150,000		
貸借料	630,000	700,000	△ 70,000			
雑支出						
事務費支出	6,565,000	6,575,000	△ 10,000			
旅費交通費	10,000	10,000				
事務消耗品費	750,000	730,000	20,000			
水道光熱費	420,000	400,000	20,000			
修繕費						
通信運搬費	687,000	687,000				
会議費	15,000	15,000				
業務委託費	650,000	650,000		会計事務所・警備料 他		
手数料	240,000	240,000				
賃借料(リース)	453,000	453,000		コピー機&PCリース料		
土地・建物賃借料	3,240,000	3,240,000		家賃・駐車料		
租税公課						
雑支出	100,000	150,000	△ 50,000			
事業活動支出計(2)	18,286,000	19,107,600	△ 821,600			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 1,011,600	1,011,600			
施設設備等による収支	収入	固定資産売却収入				
	その他の収入					
	施設設備等収入計(4)					
	支出	固定資産取得支出				
その他の支出						
施設設備等支出計(5)						
施設設備等資金収支差額(6)=(4)-(5)						
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入				
	その他の収入 退職給与積立金取崩し		120,901	△ 120,901		
	その他の活動収入計(7)		120,901	△ 120,901		
	支出	積立資産支出				
その他の支出						
その他の活動支出計(8)						
その他の活動資金収支差額(9)=(8)-(7)		120,901	△ 120,901			
予備費支出(10)	500,000		500,000			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 500,000	△ 890,699	390,699			
前期末支払資金残高(12)	3,500,205	3,310,382	189,823			
当期末支払資金残高(11)+(12)	3,000,205	2,419,683	580,522			

社会福祉法人福岡いのちの電話 理事・評議員・監事名簿

理事長	久保 千春	(中村学園大学学長、医師)
副理事長	濱生 正直	(学校法人九州聖公学園理事長、元牧師)
常務理事	五斗美代子	(元福岡市部長、臨床心理士)
理事	五十嵐 実	((株)福岡住宅センター 代表取締役社長)
〃	林 覚竜	(南蔵院副住職)
〃	瀬里 徳子	(元福岡市こども総合相談センター、臨床心理士、公認心理師)
〃	川崎 弘詔	(福岡大学医学部教授、医師)
〃	楯林 英晴	(福岡県精神保健福祉センター所長、医師)
〃	本田 彰秀	(西部ガスホールディングス(株)人財戦略部長)
〃	長谷川 彰	(西日本新聞社編集局社会部 編集委員)
〃	倉田 昌子	(相談活動運営委員会 委員長)
〃	松原 妙子	(警固法律事務所 弁護士)
評議員	衛藤 暢明	(福岡大学医学部講師、医師)
〃	権藤 説子	(税理士)
〃	大野 道雄	(徳栄寺 住職)
〃	園田 紀子	(福岡市博多区保健福祉センター長 医師)
〃	繁田 公志	(しげた消化器・外科クリニック院長、医師)
〃	近藤美由紀	(福岡市市民局男女共同参画部長)
〃	見元伊津子	(医療法人同仁会 乙金病院理事長、医師)

評議員	河邊 哲司	(株式会社久原本家グループ本社 代表取締役社長)
〃	阪口 由美	((株)西日本新聞社 編集局社会部長)
〃	張 正好	(福岡市社会福祉協議会、地域福祉専門員)
〃	黒瀬 茂美	(福岡市民生委員児童委員協議会会長)
〃	野田フミコ	(福岡県更生保護女性会会長)
〃	福島あい子	(弁護士)
〃	横内 法子	(福岡市こども総合センター所長)
〃	川口 貴子	(福岡県精神保健福祉センター所長、医師)
〃	岡村 純子	(福岡県私学振興・青少年育成局青少年育成課 支援係長)
〃	執行 好子	(ボランティア代表)
〃	桑田 勝年	(ボランティア代表)
〃	岩村 哲生	(ボランティア代表)
〃	原田 眞理	(ボランティア代表)
監事	川野 康之	(川野公認会計士事務所、公認会計士)
〃	吉野 正	(吉野・宮下法律事務所、弁護士)
顧問	中川 哲也	(元理事長、医師)
〃	林 覚乗	(元副理事長、南蔵院住職)
〃	林 幹男	(前理事長、臨床心理士)
〃	河邊 正一	(前事務局長)

(2023年6月17日現在 敬称略)

福岡いのちの電話 ボランティア募集

〈現在募集中です〉

募集内容はネット上で見るができます。
下記のURLにアクセスしてください。

<http://www.f-inochi.org/bosyu.html>

1人で抱えきれない悩みを誰にも相談できないとしたら、孤独の淵に沈んでいくような気持ちかもしれません。そんな時、いつでもかけられる電話があれば・・・。

福岡いのちの電話は、年中無休の24時間体制。電話ボランティアは一期一会で電話に向き合い、聞き、聴くことで繋がっていきます。

そんな電話ボランティアとそれを支える事業ボランティア。毎年、2つの種類のボランティア員を募集しています。やりがいのあるボランティアにチャレンジしてみませんか。養成研修を受けながら、仲間にお入りください。お待ちしております。

寄附金贈呈式 (福岡北ライオンズクラブ)

4月28日、福岡北ライオンズクラブ45周年記念式典において、寄附金贈呈式が行われました。

ご寄附のご協力に対し、久保理事長から感謝状をお渡ししました。



リレー 随 想

第31回

福岡いのちの電話 理事

長谷川 彰

((株) 西日本新聞社編集委員)



さだまさしさんが歌い続ける「いのち」

「これまで、もう死にたいって思ったこと、何度かあった。でもね、死のう、と思ったことは一度もなかった」

長崎市出身のシンガー・ソングライター、さだまさしさんの言葉だ。新聞記者になって40年余り。文化・芸能担当をしたことは一度もないのだけれど、折に触れて何度も、さださんにインタビューしてきた。

さださんがつくり出す歌の数々が、私たちが生きていく中で大切なことを語りかけているように思えるからだ。さださんの作品には、生命-いのち、亡くなった人を惜しむ思い、といったテーマの歌が、とても多い。

フォークデュオ「グレープ」として初めてヒットした曲「精霊流し」は、恋人と出かけた海で溺れて亡くなった、同い年の従兄弟が題材だったそうだ。

ソロ活動を始めた頃、公私ともに支えてくれたバンドリーダーが突然亡くなった時、感謝と追悼の思いを歌にした。他にも、サーカスで高綱渡り演技中に転落死したピエロ役の青年、大自然を写し取ることにより人生を懸ける中で事故に遭い命を落とした写真家、アフガンで無念の死を遂げた中村哲さんに捧げた歌もある。過失による交通事故で男性を死なせた若者が、亡き男性の妻にひたすら償いの仕送りを続けるストーリーなど、実話を基にさまざまな角度から、いのちについて、生きるということについて歌い続けている。

さださんは今も現役の人気アーティストだが、これまで何度か、人生の岐路に立つ挫折に直面している。

最初は15歳の時。バイオリニストになるため13歳

で単身上京したさださんは、東京芸大への登竜門と言われていた高校の入試にまさかの不合格。代わりに入った高校時代、これから自分はどうすればと悩みに悩んだという。「死」という言葉もよぎる中、文芸書、哲学書や仏教書を読みあさり、「みんな僕と同じように悩んでいる。答えは大人になって出せばいいや」と思い至ったという。

28歳の時には、映画「二百三高地」の主題歌として作った「防人の詩」が、旧日本軍が勝利した戦争の映画だったことなどから、好戦的な歌手などと、すさまじいバッシングを浴びた。万葉歌に材を取り「海は死にますか 山は死にますか」と、生命のはかなさを歌ったはずが、全くと言っていいほど理解されず苦しんだ。

翌年には、自ら製作・主演した映画「長江」で、数十億円の借金を抱え、個人会社は倒産の危機に陥った。「もう死にたい」と思ったのは、そんな頃のことらしい。それでも「死のう」とは思わなかったのは、信頼するスタッフや仲間が存在だった。

さださんの「全ての責任は俺が取るから、会社がまだ死んでいないのなら、0.01%でも息のあるうちは頑張っ手当てしてくれないか」という言葉を、「お前がそう言うのなら」と受け入れ、覚悟を共にしてくれたという。

ここで言う「死ぬ」は、単に人命だけを指しているのではないのだが、さまざまな示唆に富むエピソードだ。こんな体験をしてきた人が歌い続ける「いのち」。心が疲れた時は、耳を傾けてみてはいかがでしょうか。



オリジナル「支援自販機」が新しくなりました

(株) 西日本新聞社様、(株) 西日本新聞プロダクツ様のご支援により設置いただいている
「支援自販機」が新しくなりました。

【設置場所】 本社10階、11階、13階
製作センター内

ご援助 ありがとうございます

寄附感謝報告 2022年3月1日～2023年5月31日 (敬称略・受付順)

上記の期間に次の方々からご支援を賜りました。感謝をもってご報告させていただきます。

*このご寄附には所得税、県・市民税に関して寄附金控除が適用されます。
また、福岡市個人市民税の寄附税額控除が受けられます。



千人会			
匿名	10,000	佐藤文彦	10,000
荒木靖邦(あらきファミリー歯科)	10,000	雷音寺	10,000
松本一郎((医)松本小児科医院)	10,000	桃原健二	10,000
若杉山文殊院 高瀬覚照	10,000	田中俊孝 (たなかメンタルクリニック)	10,000
高口秀夫((医)高口歯科医院)	10,000	宮崎信義	10,000
大野道雄	10,000	中塚 蔵(栞花のチモト)	10,000
吉野 正	10,000	住吉康平(住吉クリニック)	10,000
萬年浩雄	10,000	五十嵐実(栞福岡住宅センター)	10,000
清水 浩	10,000	村山佳朗	10,000
林 幹男	20,000	岡田修一	10,000
村上信子	10,000	木上勝征	10,000
吉田葵子	10,000	藤見 是 (医)藤見胃腸科内科医院)	10,000
渡辺邦子	10,000	入江春代	10,000
佐藤 勉	10,000	梅野英輔 (医)梅野小児科内科医院)	10,000
(有)吉塚酒店	10,000	佐野百合子	10,000
川原 健	10,000	佐藤英彦	10,000
成道寺 佐藤隆昭	10,000	光澤智吉	10,000
加来一太郎	10,000	仲吉則雄 (なかよし眼科クリニック)	10,000
聖峰会 マリン病院	10,000	乙藤秀臣	10,000
山川信夫	10,000	栞九食	10,000
後藤 裕	10,000	船越睦子	10,000
生田 潔	10,000	松原妙子	20,000
金藤哲明(金藤歯科医院)	10,000	西島公子	10,000
武部道孝(税理士)	10,000	(医)西福岡病院 安藤文英	10,000
山手誠之助	10,000	岩永安弘	10,000
		中川哲也	10,000
		村岡重弘(むらおか歯科医院)	10,000
		穴井元昭	10,000
		野田尚武	10,000
		山口祐司(福岡浦添クリニック)	10,000
		島田文雄	10,000
		高原清彦(桜坂中央外科医院)	10,000
		岡 多恵子	10,000
		高宮 紘士	10,000
		椛島敏雅 (椛島としまさ法律事務所)	10,000
		梅根真知子	10,000
		(医)八田内科医院	10,000
		山口雅子	10,000
		宇都宮英人(宇都宮法律事務所)	10,000
		長門博之	10,000
		西岡雄二 (医)社団照和会 西岡病院)	10,000
		安藤 寛 (医)あんど小児科医院)	10,000
		杉本 登(杉本歯科医院)	10,000
		高宮義臣 (医)高宮外科内科医院)	10,000
		原 経博	10,000
		エントリーサービスプロモーション(株)	10,000
		古林聖子	10,000
		見元伊津子 (医)同仁会 乙金病院)	10,000
		(医)緑心会 福岡保養院	10,000
		才藤千津子	10,000
		市丸信敏(不二法律事務所)	10,000
		(医)社団 江頭会さくら病院	10,000



太田 良	10,000
雷音寺	10,000
佐藤好史	10,000
村山正治	10,000
高倉治雄	10,000
島田 茂 (株)島田電気商会)	10,000
小深田信昭	10,000
久能治子	10,000
権藤説子	10,000
元山浩貴 ((医)もとやま小児科クリニック)	10,000
山崎芙美子	10,000

賛助会

正田美加	3,000
原田元子	2,000
高原信一	3,000
井上眞知子	10,000
久保カヨ子	5,000
五斗みち子	5,000
大久保尚子	3,000

一般寄附

田中幸彦	1,000
金子英次	10,000
藤田宗春	10,000
自殺予防公開講座 募金箱	10,060
福岡いのちの電話 事業ボランティア会	100,000
福岡博多東ライオンズクラブ	300,000
福岡女学院教会	5,000
福岡いのちの電話 後援会	600,000
あかし幼稚園	10,000
小野久美子	10,000

匿名	800,000
久保千春	50,000
田中幸彦	2,000
関根敏子	5,000
鉄崎廣生	10,000
教法寺 清原勝行	3,000
坂本憲治	10,000
野島一彦	10,000
松尾芳子	3,000
松村瑞子	5,000
山下奈保美	10,000
石村重哉	3,000

匿名	3,000
田中幸彦	4,000
藤田宗春	30,000
福岡北ライオンズクラブ	400,000
植田治夫	5,000
才田洋介	100,000
青木 悟	3,000
二ノ坂保喜 ((医)にのさかクリニック)	5,000
一刈吉房	10,000
吉松松子	20,000

法人会

(株)CYS	200,000
(株)愛しとーと	30,000
(医)益田クリニック	30,000
(株)開聖リアルエステート	30,000
(医)心和堂 後藤クリニック	30,000
九州八重洲(株)	30,000
西日本技術開発(株)	30,000
(株)マルタイ	30,000

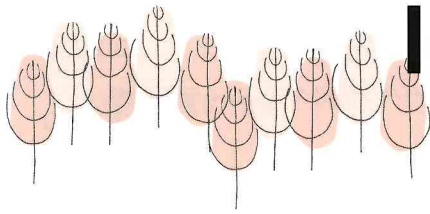
一般社団法人 福岡市医師会	30,000
(株)サイブモータース	30,000
ジャパン福岡ペプシコーラ販売(株)	30,000
(株)ふくや	50,000
九電産業(株)	30,000
アズビル金門(株)	30,000
(株)西日本シティ銀行	100,000
(株)新出光	100,000
KBCグループホールディングス(株)	60,000
九州石井運輸(株)	30,000
リンナイ(株)九州支社	30,000
(株)九州エース電研	300,000

助成金

(社福)朝日新聞厚生文化事業団	150,000
(公財)毎日新聞西部社会事業団	100,000
(社福)福岡県共同募金会	700,000

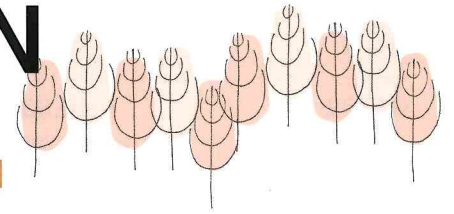
コカ・コーラ支援自販機

(財)恵愛団(九州大学病院内)	81,398
西部ガスホールディングス(株) (パピヨン24内)	75,859
西部ガスホールディングス(株) (油山研修所内)	1,445
西部ガス都市開発(株) (サンテ飯倉内)	2,947
西部ガス都市開発(株) (ニシコー千代ビル内)	7,970
(有)ダイキ通信工業(自社内)	24,201
南蔵院(JR城戸南蔵院駅)	62,631
(株)西日本新聞社(本社)	51,797
(株)西日本新聞プロダクツ (製作センター)	25,007
福岡県弁護士会 (福岡県弁護士会館内)	7,357
JFEパイプライン(株)(自社内)	4,345



INFORMATION

インフォメーション



日誌 2023.3.1~2023.5.31

3月

- 2 第48期生養成講座
(講師：松崎佳子氏)
- 5 自殺予防公開講座
(講師：豆塚エリ氏)
- 6 相談活動運営委員会
- 10 フリーダイヤル
「自殺予防いのちの電話」
- 11 ブラッシュアップ研修
(1期生~30期生)
- 14 事業ボランティア「手づくり会」
- 15 受信資料検討班会
研修運営班会
ボランティア養成サポーター会
班会
- 第48期生養成講座
(講師：松尾孝孝氏)
- 18 チャリティコンサート(昭和のこ
ころコンサート 長谷川万大氏)
- 20 事務局会議
- 23 第12回理事会
- 25 自主研修「ケースと私」
- 28 事業ボランティア「手づくり会」
- 29 九州沖縄ブロック会議
(リモート 理事長)

- 第48期生養成講座(演習①)
- 第12回教育委員会

4月

- 3 相談活動運営委員会
- 5 広報企画会議・広報班会
- 8 インターネット相談活動班会
研修運営班会
- 10 フリーダイヤル
「自殺予防いのちの電話」
- 11 事業ボランティア「手づくり会」
- 12 受信資料検討班会
ハートフルフェスタ企画委員会
第48期生養成講座
(講師：福盛英明氏)
第1回教育委員会
- 17 事務局会議
- 25 事業ボランティア「手づくり会」
連盟インターネット相談実施
センター会議(東京)
- 26 第48期生養成講座(演習②)
- 27 社会資源活動班会
- 28 内部監査
福岡北ライオンズクラブ45周年
記念式典「寄附金贈呈式」
第1回理事会

5月

- 8 相談活動運営委員会
- 9 事業ボランティア「手づくり会」
広報編集会議
- 10 フリーダイヤル
「自殺予防いのちの電話」
第48期生養成講座
(講師：川谷大治氏)
- 12 相談ボランティア世話人会
- 13 研修運営班会
- 14 LGBTQ+の自死予防を考える
研修会(パネラー 事務局長)
- 17 評議員選任・解任委員会
- 19 第2回理事会
- 23 事業ボランティア「手づくり会」
事業ボランティア例会
- 24 受信資料検討班会
第48期生養成講座(演習③)
第2回教育委員会
- 25 事務局会議
第1回全体研修
(講師：大黒 剛氏)
(フリーダイヤル研修を兼ねる)
- 27 自主研修「ケースと私」
- 30 社会資源活動班会

【編】集【後】記

雨の日曜日、1000 m程の長崎県の多良岳に登りました。メンバーは山のキャリア 45 年のベテラン、若手の今日のリーダー役、最年長である私の 3 人。コロナ前までは毎夏、北アルプスに登ってきた仲間です。霧雨の中花や緑はガスで淡く煙っており、眺望も得られない肌寒い頂上でランチ後のコーヒーを飲みながら、私は若いリーダーの緻密な荒天プランを称え、ベテランは私の方向感覚を褒め、リーダーはベテランの的確な助言を称賛します。リーダーが下山に選んでいたのは、難度の高い岩場だらけのマイナーなルート。踏み跡も不確かで何度も迷い、立ち止まっては進むべき道を協議し、危険な岩場では声を掛け合い、互いにそれとなくメンバーの様子を見ながら慎重に下山。この頃になってようやく空も明るく晴れてきました。

帰りの車中、3人共通の感想は「一人なら絶対登らなかつた」「好天より達成感と満足感はあるよね」というものでした。それ以上は誰も口にはしませんが、達成感や満足感の陰には、時に前方で、時には後ろから、互いに寄り添うような仲間の存在があったことを知っています。「もうひと息!」「ここ滑るよ!」という励ましや気遣い、感謝や敬意の表明など、饒舌でなくとも言葉が人を支え、言葉が人を動かします。電話での私たちのささやかな一言でも、受け取る人には大きな意味を持つこともあると信じたいためです。(I, H)

電話受付件数

2023年3月~2023年5月

受付件数	3,291件
延べ相談員数	900人
延べ受信時間	98,511分

発行所

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-7-7
社会福祉法人 福岡いのちの電話

TEL (092)713-4343・FAX (092)721-4343

ホームページアドレス
<http://www.f-inochi.org/>

発行人 久保 千香
編集人 山口 哲史



この「会報」は共同募金の配分金で作成しています。